

8月 モニターレポート		担当出張所
担当区間	淀川下流右岸 菅原城北大橋～神崎川分派点（一津屋樋門）（右岸12.3km～16.0km）	
モニター実施日時	令和1年8月31日 午後2時～4時頃	
天候	曇りのち雨	
<p>(見出し)</p> <p>淀川の菅原城北大橋（右岸12.3km付近）～神崎川分派点（一津屋樋門）（主に右岸14km付近）についてモニターしました。</p> <p>感想、気づいたことなどの報告</p>		
<p>(内容)</p> <p>菅原城北大橋付近からスタートしました。</p> <p>①</p> <p>もしかしたら増水しているかと少し心配しながら向かいましたが、堤防の一番高い所からは遠いせいもあって、それほど大きな変化は見られず、河川敷に降りるとほとんどの場所で川面が見えないため「もし氾濫の危険が迫ったとしてもここに居たら目視ではわからないなあ～」と思いながらモニターしました。実際には警報などが鳴動するのでしょうか？</p>  <p>②</p> <p>前回と天候は違いましたが、景色からは季節はそれほど進んでいないように感じませんでした。しかし、虫の声の大合唱が聞こえるようになっていました。人も少なく、コンサートを独り占めといった感じでとてもいい雰囲気でした。</p>		



③

曇天のため薄暗く以前通った人工物と思しきトンネルは一層不気味な感じがしました。猫の家になっていることろもあるようでたくさんの猫が集まっていました。



2回目のモニターでした。8月の最終週は、気温はそれほどなかったものの、一足早い秋の長雨でモニターしづらい天候が続きました。また九州では大雨で被害が出たと知り、改めて河川の管理の大切さと自然の恐ろしさを感じました。

(意見・感想・処置等)

8月のレポート、ありがとうございます。

雨が続いて一気に秋らしくなるかと思えば、9月に入っても猛暑日になる程の残暑だったり、夕方近くなると雷とともに局地的な豪雨になる日が続いたり・・・秋の爽やかな青空と気持ち良い風の中、虫の大合唱を楽しめる日が待ち遠しいですね。

大阪だけを見れば昨年度のような豪雨による増水や台風被害は少ないものの、今年も日本各地で災害が起こっています。

伊藤モニターの仰るとおり、自然の恐ろしさを感じるとともに、日頃の備えの大切さを痛感します。

これだけの大きな河川ですが、洪水の時には高水敷まで水位が上昇する場合があります。

増水の危険を知らせる警報はありませんが、河川公園は利用中止とし利用者の避難誘導を行ったり、河川巡視でも河川内利用者に退避を呼び掛けます。でもまずは、増水の危険があるような気象状況の時には河川利用を控えていただくこと、また増水の様子を見に行ったりしないようにして下さい。

それでは、来月のレポートもお待ちしております。